

中枢神経系悪性リンパ腫の治療成績の検証と予後因子の解析

1. 研究の対象

1995年1月1日から2025年12月31日までに国立がん研究センター中央病院において、中枢神経系悪性リンパ腫と診断し、治療を行った症例とし、新たに治療を開始する症例も適宜検討対象とします。

2. 研究目的・方法

国立がん研究センター中央病院で治療を行った中枢神経系悪性リンパ腫の治療成績を検索、確認することにより、これまでの診断、治療を評価し、今後の治療指針を考察、検討します。予後因子、治療効果予測因子を抽出することで、今後のより適切で効果的な治療戦略を考案し、実施することを目的とします。

当院における中枢神経系悪性リンパ腫の治療は、標準治療を原則としていますが、再発時治療や、標準治療が確立していない状況では、エビデンスに基づく独自の治療方針で統一して行っています。また新規薬剤の使用に際しても、これまでのエビデンスを検証しつつ、最適な治療の提供に努めています。これら方針検討、変更のためには、ある一定の期間ごとに、治療方法の検証、修正が必要となります。本研究では、これらのことを踏まえ、これまでの治療内容を評価するために、診療録、画像情報、病理診断、分子診断などの臨床治療経過を検索、確認することで、診断課程、治療経過、治療成績の評価を行います。さらにその結果から、新規プロトコル策定を含めた治療戦略の再考を行います。また、各疾患における予後因子、治療効果因子を抽出することにより、より適切で効果的な治療の提供へ繋げることをその研究意義としています。

中枢神経系悪性リンパ腫と診断をした症例の臨床情報、画像情報、病理診断情報などの試料を収集してデータベースを作成、管理して、これをもとに診断課程、治療経過、治療成績や予後因子、治療効果因子を検討します。

研究実施期間：2016年08月08日～2026年08月07日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究においては、次の情報を診療録より情報を収集してデータを解析します。

本研究用 ID、治療開始年齢、性別、腫瘍発生部位、組織診断、腫瘍の免疫・遺伝子発現情報、CT/MRI/PET を含む画像所見、画像診断年月、治療経過中 PS、治療経過中神経症状、治療開始日、初回診察日、初期治療内容、手術年月、手術内容、手術合併症・有害事象、放射線治療内容、放射線量、放射線治療有害事象、薬物療法の内容、薬物療法有害事象、初回再発転帰、再発年月、再発後の治療内容、転帰年月、最終転帰、画像情報 等
また、病理部に保管してある既存検体組織を用いて病理組織情報等を収集します。

4. 試料・情報の公表

本研究で得られた医療情報は、パスワードにて保護されたデータとして管理し、研究グループのメンバーのみが、データにアクセスできるように管理する。

研究成果が将来発表される場合にも、個人を識別可能な情報については公表しない。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センター中央病院脳脊髄腫瘍科

成田善孝 宮北康二 大野誠 高橋雅道

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL: 03-3542-2511 FAX: 03-3542-3815

研究責任者：

国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 成田善孝